

教育庁実施事業改善調査書（平成19年度実施事業）

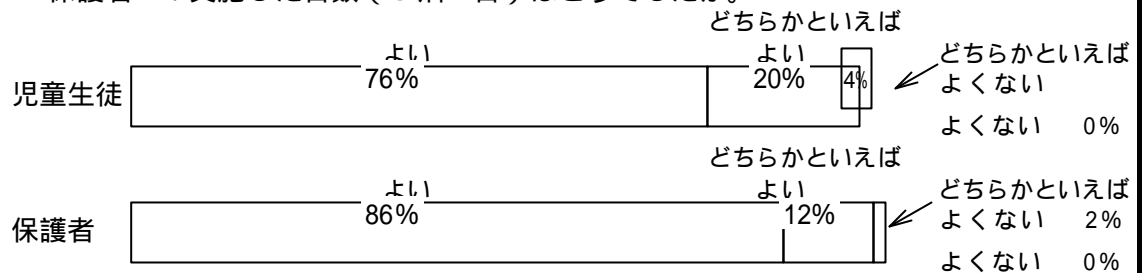
義務教育課（内線 5222）

事業名	科学大好き児童生徒育成事業（ミニ博士コース）	事業開始年度	平成14年度																				
事業の目的	研究機関等での探究活動を通して、科学する喜びや楽しさを味わいながら科学への興味・関心を高めることにより、「科学技術の県いばらき」を担う児童生徒の育成を図る。																						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 対象 小学6年生，中学1，2年生 人数 118人 場所 探究活動 茨城県自然博物館，（独）防災科学技術研究所，（独）国立環境研究所，国土地理院，（独）物質材料研究機構 宿泊場所 （財）水海道あすなるの里 発表会会場 茨城県自然博物館 内容 つくば市の研究機関や県自然博物館を会場として，研究者や学芸員等の直接指導の下，夏休み中の3泊4日の期間で探究活動を実施する。 帰宅後に，各自が研究課題について発展的に研究を進め，模造紙1枚程度にまとめる。 各自が自分の研究成果を持ち寄り，冬休みに県自然博物館を会場にポスターセッション形式の発表会を行う。 																						
期待される効果	<p>児童生徒に，各自の研究課題に基づいて専門的な指導者の下で探究活動を行うことにより以下の効果が期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の理科や科学に関する興味・関心が高まる。 専門家による具体的な指導を通して，理科や科学への興味・関心が高まるきっかけとなる。 																						
アンケート調査結果	<p>調査対象 児童生徒 104人（ミニ博士コース参加者） 保護者 104人（参加者の保護者） 教員 102人（参加者の担任）</p> <p>1 事業継続についての意向</p> <p>児童生徒：「科学大好き児童生徒育成事業 ミニ博士コース」は，今後さらに続けた方がよいと思いますか。</p> <p>保護者：「科学大好き児童生徒育成事業 ミニ博士コース」は，今後さらに続けた方がよいと思いますか。</p> <p>どちらかといえば</p> <table border="1"> <tr> <td>児童生徒</td> <td>続けた方がよい 92%</td> <td>続けた方がよい 8%</td> <td>どちらかといえば 続けなくてよい 0%</td> <td>どちらかといえば 続けなくてよい 0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>続けた方がよい 90%</td> <td>続けた方がよい 10%</td> <td>どちらかといえば 続けなくてよい 0%</td> <td>どちらかといえば 続けなくてよい 0%</td> </tr> </table> <p>2 実施時期についての意見</p> <p>児童生徒：やった時期（7，8月の夏休み）はどうでしたか。</p> <p>保護者：実施時期（7，8月の夏休み）はどうでしたか。</p> <p>どちらかといえば</p> <table border="1"> <tr> <td>児童生徒</td> <td>よい 83%</td> <td>よい 16%</td> <td>どちらかといえば よくない 1%</td> <td>どちらかといえば よくない 0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>よい 90%</td> <td>よい 8%</td> <td>どちらかといえば よくない 2%</td> <td>どちらかといえば よくない 0%</td> </tr> </table>			児童生徒	続けた方がよい 92%	続けた方がよい 8%	どちらかといえば 続けなくてよい 0%	どちらかといえば 続けなくてよい 0%	保護者	続けた方がよい 90%	続けた方がよい 10%	どちらかといえば 続けなくてよい 0%	どちらかといえば 続けなくてよい 0%	児童生徒	よい 83%	よい 16%	どちらかといえば よくない 1%	どちらかといえば よくない 0%	保護者	よい 90%	よい 8%	どちらかといえば よくない 2%	どちらかといえば よくない 0%
児童生徒	続けた方がよい 92%	続けた方がよい 8%	どちらかといえば 続けなくてよい 0%	どちらかといえば 続けなくてよい 0%																			
保護者	続けた方がよい 90%	続けた方がよい 10%	どちらかといえば 続けなくてよい 0%	どちらかといえば 続けなくてよい 0%																			
児童生徒	よい 83%	よい 16%	どちらかといえば よくない 1%	どちらかといえば よくない 0%																			
保護者	よい 90%	よい 8%	どちらかといえば よくない 2%	どちらかといえば よくない 0%																			

3 実施日数についての意見

児童生徒：やった日数（3泊4日）はどうでしたか。

保護者：実施した日数（3泊4日）はどうでしたか。



4 探究内容についての意見

「ミニ博士コースでは、10種類のコースがありましたが、この他にどんなことを調べるコースがあるとよいと思いますか。（あるだけ書いてください）」

上記の質問に対して、児童生徒の54%，保護者の39%，担任の37%から、次のような意見が寄せられた。

- ・星や宇宙に関する内容
- ・海の生き物に関する内容
- ・環境に関する内容
- ・化学実験に関する内容
- ・遺伝子に関する内容を調べるコース等の意見があった。

5 調査結果の分析

(1) 事業継続についての意見

本事業の継続に関して、児童生徒の92%，保護者の90%が「続けたほうがよい」と答え、児童生徒の8%，保護者の10%が「どちらかといえば続けたほうがよい」と答えており、本事業を継続することが適当であると考えます。

(2) 実施時期についての意見

本事業の実施時期に関して、児童生徒の83%，保護者の90%が「よい」と答え、児童生徒の16%，保護者の8%が「どちらかといえばよい」と答えており、ほとんどの児童生徒及び保護者が肯定的に答えていることから、実施時期が適当であったと考える。

(3) 実施日数についての意見

本事業の実施日数に関して、児童生徒の76%，保護者の86%が「よい」と答え、児童生徒の20%，保護者の12%が「どちらかといえばよい」と答えており、ほとんどの児童生徒及び保護者が肯定的に答えていることから、実施日数が適当であったと考える。

(4) 探究内容についての意見

本事業の探究活動の内容について、児童生徒、保護者、担任の44%から新たな探究活動の内容について意見が寄せられたことから、検討をすることが必要と考える。

関連データ

ミニ博士コースの参加希望者（平成17年度より募集人数を120人とした）

年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
希望者数	114人	182人	131人	158人
参加者数	98人	118人	115人	118人

今後の方向

- 参加した児童生徒及び保護者の全てが、本事業の継続を希望しており、今後も引き続き実施する。
- 参加した児童生徒及99%，その保護者の98%が、実施時期について肯定的に答えており、今後も引き続き夏休みの8月上旬に実施する。
- 参加した児童生徒及96%，その保護者の98%が、実施日数について肯定的に答えており、今後も引き続き3泊4日で実施する。
- 今後は、児童生徒の多様な要望に応えられるよう、研究機関との連携を図り受入先の意向を聞きながら、平成20年度は、遺伝子を対象にしたコースなどを増やし、より多くの希望に対応できるように検討する。